

三県合同災害歯科保健研修会 アンケート結果まとめ

三県合同災害歯科保健研修会にご参加いただき、アンケートにご回答いただきまして、誠にありがとうございました。いただきましたご質問につきまして簡単ではありますが、お知らせいたします。

今回の内容で実際の支援活動について学べた。とても良い講演だった。他県会と交流がもてたのが良かった。今後もこのような研修会を開催してほしいなどうれしいお言葉が多く寄せられました。ありがとうございました。その中で、研修会対応、検討事項、質問に対する回答と3つに分けて、皆様にフィードバックさせていただくことに致しました。

1. 研修会対応

- ・シートの記入や集計
- ・訓練の機会
- ・SNSでよく目にすることが多かった『がんばってください』が禁句だと知り、自分が発するひとことが相手に与える影響を考えさせられた。
- ・災害時の歯科衛生士としての支援の必要性和心構えや気をつけなくてはならない言動
→各県で今後の研修会に入れていく

2. 検討事項

- ・JDATとしての活動の周知が必要で、平時の多職種連携が重要であると思った。
支援を受ける側になったときどのように動けるか、対策が必要
→奈良県では他職種との総合防災訓練があり、その際、医科ではJ-SPEEDというアプリで報告事項の記録を行っているという情報を得た。実際に支援に行った場合、報告書の作成に時間を要した経験から、そのアプリに歯科も導入していただけるようお願いをしたそうである。今後、他県会でも医科や歯科医師との交流の際に、このアプリへの導入をお願いすることで話が決まった。
- ・日衛の災害登録歯科衛生士がボランティアで関われるような体制を将来、構築していただきたいと思いました。
→ブロック理事に相談し、日衛にあげてもらうことになった。
- ・折角なのでスライド資料が短時間で変わってしまう場面もあったので事前に見せていただけるとよりわかり易く集中してお話が聞けるのでは無いかと思いました
→今回の研修会は事前に配付資料はないと決まっていたことから、対応はなし。ただ、今後の研修会については各県で検討することになった。
- ・ディスカッションの時間が長過ぎた
→奈良県は午前からの研修で1日と長丁場であったことからの意見ではないかと反省意見が出た。また、石川県ではディスカッションの事前説明がなかったことから、質問等の準備ができていなかったとの意見も出た。奈良県も同様に事前説明が必要でした。
- ・今後も、合同での研修もあればいい
- ・これを機に今後とも新潟県、石川県、奈良県で何らかの交流が出来れば嬉しいです。
→前向きに検討する。

3. 回答

- ・車での避難生活のビラはホームページから見るができますか？
→新潟県のホームページから車中泊パンフレットが確認できる
- ・「ラビッドアセスメントシート」はどういう内容でしょうか？
→日衛のホームページから、災害歯科保健活動 歯科衛生士実践マニュアルで確認できる。
- ・奈良県会が行った集団指導に興味を持ちました。どのような雰囲気ややって笑いを取ったのか？
→日衛のホームページから健口体操の媒体をデフォルメし使用したところ喜んでいただけた。お昼で高齢者が多かったこともあったと思う。また、関西弁を用いたことがお笑い芸人のようで楽しんでいただけたのかもしれない。内容的には施設の集団での

レクレーションのようなものであった。

- ・長谷先生のご講義の中で噛む力が衰えた方が多かったとのことで、カムカムシートがとてもよいと思いましたが、どんな指導をしたのかももう少し詳しい様子をお聞きしたかった

→「カムカムチェックシートに直近1週間の食事内容をチェックしてもらって、概ねの咀嚼回数や食品バランスが可視化できるため、咀嚼回数と栄養の二面から結果をもとに食事指導します。震災後は仮設住宅の被災者にスクリーングで使用しました。」

長谷先生より

- ・何かメモをとりながら行なっているのでしょうか。あまり被災者の方には見られないようにしないといけなかったでしょうか。

→アセスメントシートのことであれば、特に見られないように意識はしていなかったし、見ようとする方もいなかった。

- ・DMAT隊員が私の他にいるか、分かれば人数なども教えてください。

→DMATとして参加した経験のある歯科衛生士と連絡がついた。ただ、DMATは医師、看護師、ロジの構成となっており、ロジは歯科医師、歯科衛生士の場合もあるが調整員という名称で名札をつけており、職種についてはわからないとのことだった。よってご質問については今回わからなかった。

- ・3県の災害時の在り方に取り組む歯科衛生士ウェブ交流会が開催されることが、またありますか？

→前向きに検討したい。